

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	1	勤労者会館運営費	1,965 千円	1,562 千円	236～239

【商工振興課】

○勤労者会館運営 1,562 千円

勤労者の文化の向上と福利厚生を図るため、勤労者会館を運営し、有効活用を図りました。

令和3年度 利用状況	利用回数 (回)	利用人数 (人)
大ホール	2	70
中ホール	19	301
小ホール	43	528
会議室A	28	313
会議室B	7	37
合計	99	1,249

(参考) 令和 2年度 86回 1,109人

令和 元年度 131回 2,459人

【使用料収入】 令和 3年度 805千円

令和 2年度 784千円

令和 元年度 1,115千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	2	労働諸費	13,709 千円	13,709 千円	238～239

【商工振興課】

○シルバー人材センター運営費補助金 13,709 千円

高齢者の就業その他多様な社会参加活動を援助し、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進及び活力ある地域社会づくりに寄与しているシルバー人材センターの運営費の一部を補助しました。

《事業実績》

年度	受注件数	就業延人員	受注契約額	会員数
R3	2,153 件	6,406 人	128,972 千円	264 人
R2	1,781 件	6,549 人	137,483 千円	296 人
R1	2,073 件	8,011 人	156,926 千円	318 人

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	1	農業委員会費	47,836 千円	46,513 千円	238～243

【農業委員会】

○農業委員会の体制

農業委員 定数 19 人 実数 19 人
 任期 令和 2 年 7 月 20 日～令和 5 年 7 月 19 日
 農地利用最適化推進委員 定数 19 人 実数 19 人
 任期 令和 2 年 7 月 29 日～令和 5 年 7 月 19 日

○3 か年の申請許可状況

◇農地法に基づき受理及び審議承認した農地転用等件数

(面積 : m²)

種 別	年 度		R 1 年度		R 2 年度		R 3 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積		
3 条 (農地として活用…所有権移転、耕作権の設定)	42	94,335	32	81,426	43	80,300		
4 条 (農地の転用…自分名義)	8	4,801	10	7,736	12	4,856		
5 条 (農地の転用…他人名義の農地を売買又は貸借して)	56	39,657	66	43,883	59	48,914		

◇農業経営基盤強化促進法による申請件数

(面積 : m²)

種 別	年 度		R 1 年度		R 2 年度		R 3 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積		
貸借 (新規)	31	97,278	118	299,556	49	126,769		
貸借 (更新)	138	264,113	132	280,520	97	210,683		
所有権移転 (売買等)	29	50,220	28	45,689	29	42,159		

※農業経営基盤強化促進法…農業経営の規模拡大や合理化を進めていく意欲のある農業経営者 (認定農業者等) 支援のための法律で、農地法の許可を受けずに農地の貸し借り等ができる制度

○農地利用最適化交付金事業 517 千円

農地等の利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等）の推進に係る活動の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員へ報酬を支給しました。 活動実績に応じた交付金 517 千円

○農業者年金業務事業 194 千円

農業者年金は、農業者年金基金法に基づく農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした年金制度であり、農業者年金基金から委託を受け事務を行っております。

新規加入者申込届や裁定請求書、現況届などの届出書の受付、農業委員・農地利用最適化推進委員による加入対象者への周知及び加入推進活動を行いました。

区 分		年 度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
年金受給者 (人)			4 6 3	4 7 3	4 4 9
被保険者 (人)			1 8 9	1 8 5	1 8 0
届出受付件数 (件)	新規加入者申込		6	1 1	1 0
	死亡・脱届受付		3 1	4 1	3 7
	経営移譲年金請求 (旧制度)		1	0	1
	老齢年金請求 (旧制度)		7	2	9
	特例付加年金請求 (新制度)		0	0	1
	老齢年金請求 (新制度)		1 9	1 5	1 8

○機構集積支援事業 735 千円

農地中間管理機構が担い手への農地の集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が関連する事業を実施しました。

- ・農地利用状況調査……市内全域の農地を、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局・農林課と共にパトロールを実施し、遊休農地の把握を行いました。
- ・農地利用意向調査……遊休農地所有者に対して意向調査を行い貸借等の斡旋や、遊休農地の解消に努めました。
- ・遊休農地面積…………… 1 9. 8 ha (前年 1 9. 4 ha)

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	3	農業振興費	201,596 千円	183,734 千円	244～249

【農林課】

○雇用労力支援システム事業 6,048 千円

担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保するためには労力支援システムの構築が必要であることから、農援隊を組織する農協に対し補助を行いました。

事業の成果としては、農作業労力支援システムの活用により労力不足を解消し農業経営の安定に繋がりました。

受益戸数	165 戸
利用日数	4,003 日
事業費	47,329 千円（うち補助対象事業費：12,098 千円）
負担割合	市：1/2、農協：1/2

○ながさき型スマート産地確立支援事業 2,719 千円

（チャレンジ園芸1000億推進事業より事業名変更）

近年の園芸用施設整備費の高騰に伴う生産コストの上昇は、園芸農家の経営を著しく圧迫しており、園芸施設の長寿命化は農業所得の向上にとって重要な課題です。

今回、本事業の活用により、園芸施設の長寿命化を図り、災害に強い施設整備により、農業所得の向上、次世代への経営継承に繋げる基盤の整備を支援しました。

受益戸数	6 戸
事業量	施設の長寿命化 84.7a スマート農業技術の導入 50a
事業費	7,204 千円（うち補助対象事業費：7,204 千円）
補助率	県：1/3 市：1/10



妻柱の追加



陸梁の追加

○産地生産基盤パワーアップ事業 105,870 千円

水田・畑作・野菜・果樹・花き等の産地が創意工夫を活かし、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づいて実施する競争力の強化や産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援しました。

受益戸数	白菜農家 10戸 ほうれん草 1法人 生姜1法人
事業量	連棟ハウス(白菜) 1.53ha 連棟ハウス(生姜) 0.26ha 連棟ハウス(ほうれん草) 0.50ha
事業費	220,550 千円 (うち補助対象事業費: 213,540 千円)
補助率	国: 1/2



[ハウス(ほうれん草)]



[ハウス(白菜)]



[ハウス(生姜)]

○有害鳥獣対策事業 10,223 千円

農業収益の低下を招く有害鳥獣の被害を防止するため、駆除対策として猟友会へ駆除を委託し、実施しました。

事業の成果として、有害鳥獣であるイノシシ等による農作物被害の軽減に繋がりました。また、イノシシの畑への侵入防止を目的としてワイヤーメッシュ柵の整備を行いました。

・有害鳥獣捕獲等実績

イノシシ	イノシシ以外の獣	カラス	WM柵設置長
544 頭	55 頭	289 羽	557m



[イノシシの捕獲]



[WM柵]

○農地中間管理機構事業 4,422 千円

農地中間管理事業の業務を効果的に進めるため、農地集積専門員の設置等を行いました。事業の成果としては、事業の円滑な推進が可能となり、担い手への農地集積・集約化の加速化に繋がりました。

事業内容	農地集積専門員設置 1 人 等
集積面積	農地中間管理機構による新たな集積面積 18.3ha
補助率	国：10/10

○経営継承・発展等支援事業 13,815 千円

将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保するため、令和2年1月1日以降に人・農地プランの中心経営体等である先代事業主から経営を継承し、青色申告を行う農業後継者が実施する経営発展に向けた取組を支援しました。

受益戸数	14 戸
事業内容	省力化機械の導入 等
事業費	20,688 千円（うち補助事業対象事業費：13,815 千円）
補助率	国：1/2、市：1/2（義務負担）1人当たり上限1,000 千円

○ながさき農林業・農山村構造改善加速化事業 15,888 千円

認定農業者の後継者が近い将来の世代交代の時期を見据え、後継者独自の施設を整備し、次代の担い手としての技術力、経営感覚を磨くことを目的として、施設整備の支援を行いました。

受益戸数	3 戸
事業量	連棟ハウス（すいか）4,612 m ²
事業費	40,783 千円（補助対象事業費：31,810 千円）
補助率	県：2/5 以内、市：1/10



[ハウス（すいか）]

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	4	畜産業費	31,083 千円	24,263 千円	248～251

【農林課】

○畜産環境衛生保全事業 6,543 千円

畜舎周辺の宅地化が進んでおり、家畜の飼育に起因した悪臭・衛生害虫の発生は、畜産経営の維持継続に影響をきたすことから、畜舎の環境保全を図る薬剤の購入に対し補助を行いました。

事業の成果としては、衛生害虫及び悪臭発生防止等が図られ、畜産経営の維持継続と畜産環境の保全に寄与しました。

受益戸数	64 戸
事業費	26,677 千円
補助率	市：1/3 以内

○島原市肉用牛導入支援事業 720 千円

優良な肥育素牛の導入を行う農家の経営の安定と、優良な子牛を生産する繁殖農家の所得向上を図るため、優良な肉用牛の導入に対し補助を行いました。

事業の成果としては、優良な繁殖雌牛・肥育素牛の計画的な導入により、規模拡大や肉用牛の品質向上等が図られ、畜産経営の安定に繋がりました。

受益戸数	10 戸
事業量	繁殖雌牛：11 頭 肥育素牛：30 頭
補助単価	市：繁殖雌牛 30 千円／頭 肥育素牛 13 千円／頭



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	5	農地費	267,254千円	154,635千円	250～255

【耕地水産課】

○県営事業費負担金 63,137千円

県営の畑地帯総合整備事業（三会原第3地区）ほか9件に対し、負担金を支出しました。

(千円)

事業名	箇所名	事業内容	事業費	負担金	小計
県営畑地帯総合整備事業	三会原第3地区	付帯工事、測量、換地	76,575	9,012	33,696
県営畑地帯総合整備事業（R2年度繰越）	三会原第3地区	付帯工事	14,910	1,652	
県営畑地帯総合整備事業	三会原第4地区	測量、設計、換地、区画整理、用排水施設	139,638	10,500	
県営畑地帯総合整備事業（R2年度繰越）	三会原第4地区	測量、設計、換地、区画整理、用排水施設	102,800	12,532	
県単独土地改良調査費	中原・寺中地区、東大地区	計画書修正 土壌調査	3,142	942	942
県営水利施設整備事業	三会原、島原・深江	揚水機補修	28,719	4,839	7,649
県営水利施設整備事業（R2年度繰越）	三会原、島原・深江	揚水機補修	20,160	2,810	
県営ため池整備事業	寺中ため池	改修工事	10,000	1,100	17,100
県営ため池整備事業（R2年度繰越）	古屋地ため池、清水ため池	改修工事	100,000	16,000	
県営水利施設等保全高度化事業実施計画策定事業	一野地区	事業実施計画策定	15,000	3,750	3,750
計			510,944	63,137	63,137



着工前



着工後

○需用費（修繕料） 13,770 千円

農業用の道路や河川等の施設において、破損箇所の補修や改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

工 種 名	件 数	支出額（千円）
農道修繕	24 件	6,964
用排水路修繕	23 件	6,806
計	47 件	13,770

○工事請負費 14,279 千円

農業用施設である農道や河川等の用排水路の改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

工 種 名	件 数	支出額（千円）
農道・水路改修工事 （赤野ため池浚渫工事）	1 件	14,279
計	1 件	14,279

赤野ため池浚渫工事



着工前



竣 工

○原材料費 2,027 千円

公図上にある農道の舗装打設や用排水路の漏水対策で自然排水路の改良などの必要性が高く、受益者が自ら施工できるものに対し、生コンなどの資材を支給し、営農の効率化や農業経営の安定を図りました。

工 種 名	件 数	支出額（千円）
生コンクリート	4 件	2,027
計	4 件	2,027

○農業水路等長寿命化・防災減災事業 1,080千円

経年劣化により使用不可となった深底ため池の取水施設の改修工事に向けて、機能保全計画の策定に着手しました。

▼事業内容：深底ため池機能保全計画策定業務委託
(前払金のみ支出、令和4年度へ繰越)

▼補助率：国費100%

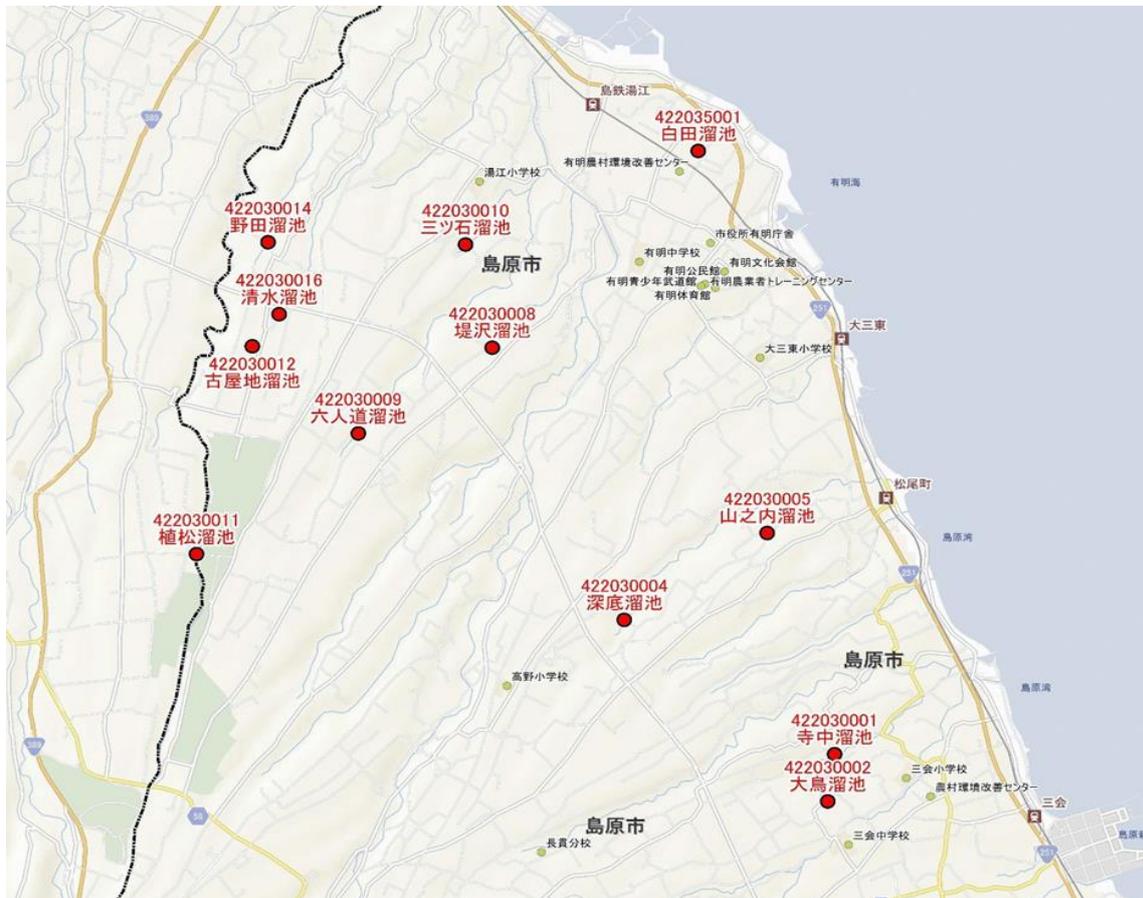
○農村地域防災減災事業（調査計画事業） 1,494千円

近年、地震・豪雨等の災害により、ため池の決壊等が発生しているため、島原市内防災重点農業用ため池のうち、4箇所（大鳥、堤沢、六人道、白田ため池）について劣化状況を評価し、防災工事の必要性等を判断するため評価を行いました。

▼事業内容：島原地区ため池劣化状況評価業務委託

▼補助率：国費100%

・島原市内防災重点ため池マップ（一部抜粋）



○多面的機能支払交付金 33,281千円

農業者や地域住民が参加する活動組織による農業用施設の維持管理や地域の生態系保全、景観形成などの活動に対し交付金を交付しました。

	活動 組織数	面積 (ha)	交付金額 (千円)	負担割合 (%)		
				国	県	市
農地維持支払交付金	2	689	14,491	50%	25%	25%
資源向上支払交付金 (共同活動)	2	689	7,886	50%	25%	25%
資源向上支払交付金 (長寿命化)	2	614	10,304	50%	25%	25%
広域活動組織運営交付金	1	—	600	0%	0%	100%
計			33,281			

農道の草刈



水路の泥上げ状況



イノシシ防護柵の設置状況



景観形成のための施設への植栽状況



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	6	農村環境施設管理 運営費	21,579千円	21,118千円	254～261

【農林課】

下記の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行いました。

○農村環境改善センター管理運営費 **4,818千円**

○有明農業者トレーニングセンター管理運営費 **1,465千円**

○有明農林漁業体験実習施設（舞岳山荘）管理運営費 **14,834千円**

▼利用者数

(単位：人)

施設名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農村環境改善センター	16,649	9,186	10,074
有明農業者トレーニングセンター	26,175	17,148	12,367
舞岳山荘	6,023	1,959	2,273
計	48,847	28,293	24,714



<農村環境改善センター>



<有明農業者トレーニングセンター>



<舞岳山荘>



<舞岳山荘>

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	2	2	林業振興費	11,918 千円	7,565 千円	262～263

【農林課】

○松くい虫対策事業 2,343 千円

松林を松くい虫から保護するため、地上からの薬剤散布による防除及び被害木の伐倒駆除処理を行いました。

事業の成果としては、適期防除と伐倒駆除処理により、松くい虫被害の拡大防止が図られ、松林の健全な育成と保全に繋がりました。

実施場所	有明町水之出口地区、湊島、秩父が浦
事業量	地上散布：2.29ha、伐倒駆除：80本



[地上散布]



[被害木の伐倒]

○市有林整備事業 1,893 千円

市有林の健全な育成と適正な管理を図るため、下刈り・枝払い等を行いました。

事業の成果としては、下刈り等の実施により、適正な管理等が図られ、森林環境や生活環境の保全に繋がりました。

区 分	面 積
市有林管理（下刈等）	2.83ha

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	2	水産業振興費	25,828 千円	20,019 千円	264～267

【耕地水産課】

○活力ある海づくり事業費補助金 2,112 千円

(有明漁協：673 千円 島原漁協：1,439 千円)

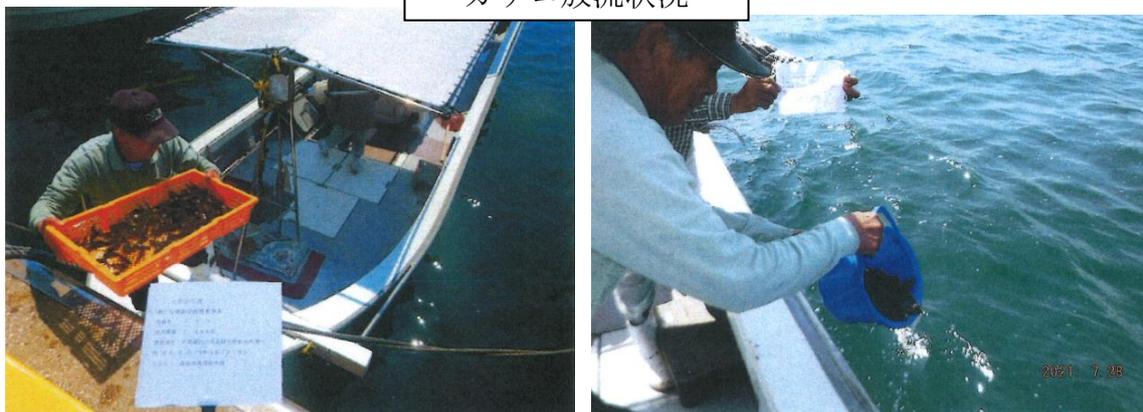
有明海の漁業資源の回復を図るため、種苗放流事業を行う有明海栽培漁業推進協議会に加入する有明漁協・島原漁協に対し補助を行いました。(市補助率 75%：漁協負担金の 75%を補助)

- ・放流実績 (諫早湾漁協から島原半島南部漁協までの 8 漁協合計分)

(単位：尾)

魚種	ガザミ	クルマエビ	カサゴ	トラフグ
尾数	100,000	1,450,000	30,000	50,000

カサゴ放流状況



ガザミ放流状況



○ひとが創る持続可能な漁村推進事業費補助金 1,905 千円

担い手の定着促進のため、就業定着意欲のある者に対する生活費等を助成し、担い手の確保育成を図りました。(負担割合：県 50%、市 50%)

- ・技術習得支援事業【新規就業者の生活費等】・令和 3 年度実績 研修者：3 人 1,830 千円
指導者：1 人 75 千円

○水産多面的機能発揮対策事業負担金 2,403 千円

島原地区及び有明地区環境・生態系保全活動組織が、藻場・干潟の機能の維持・回復を図る取り組み相当分に対し、長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出しました。

(負担割合：国 14/20、県 3/20、市 3/20 ※海難救助訓練は国費 100%)

(千円)

活動組織	内容及び事業費		国		県	市
	内容	事業費	14/20	20/20	3/20	3/20
島原地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,958.4	1,370.88		293.76	293.76
	2. 干潟の保全	4,569.6	3,198.72		685.44	685.44
	3. 漂流・漂着物除去	2,937.6	2,056.32		440.64	440.64
	4. 海難救助訓練	384		384		
小計		9,849.6	6,625.92	384	1,419.84	<u>1,419.84</u>
有明地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,088	761.6		163.2	163.2
	2. 干潟の保全	4,080	2,856		612	612
	3. 漂流・漂着物除去	1,904	1,332.8		285.6	285.6
小計		7,072	4,950.4	0	1,060.8	島原市分 <u>982.7</u> (雲仙市分 78.1)
合計		16,921.6	11,576.32	384	2,480.6	島原市分 <u>2,402.5</u> (雲仙市分 78.1)



ヒジキ移植



アマモ移植

○県営水産環境整備事業負担金 2,426千円

有明海沿岸地区において海底耕耘を実施するとともに、底質が悪い諫早湾において、耕耘と合わせ貝殻等を散布し、底質の改善に取り組むことにより、底棲生物の生息環境を改善し、漁場の生産能力向上と漁獲の増大を図りました。

県営水産環境整備事業の主な内容

- ・有明海沿岸地区（諫早市、雲仙市、島原市、南島原市）において、漁船を使用して、貝桁による海底耕耘作業等を実施しました。

海底耕耘実施面積 17 km²、測量試験1式

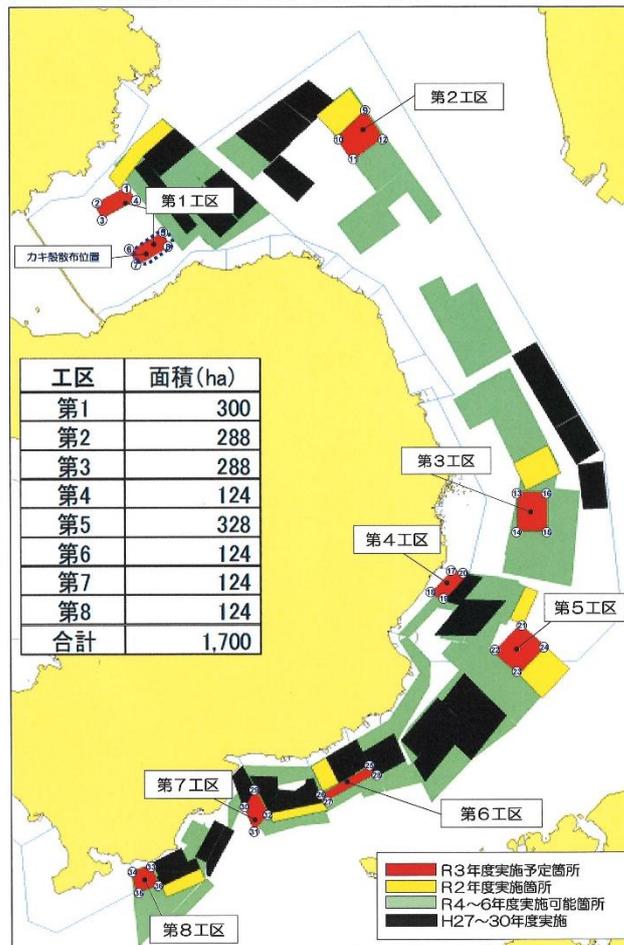
事業費 140,000千円

（負担割合：国50%、県45%、市5%）

島原市の負担金算出方法

- ・事業費×5%（4市負担金割合）×（島原市の作業船：690隻／4市の作業船：1991隻）
 =140,000,000円×5%×690／1991隻=2,425,915円

令和3年度有明海沿岸地区海底耕うん事業の工区位置（変更）



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	3	漁港管理費	174,408 千円	63,735 千円	266～269

【耕地水産課】

○水産物供給基盤機能保全事業 54,258 千円

負担割合：国 50%、市 50%

水産物供給基盤機能保全事業計画に基づき、漁港機能の安全確保と延命化を図るため、湯江漁港の泊地浚渫工事に着手しました。（工事は令和4年度へ繰越）

工 種 名	件 数	支出額（千円）
湯江漁港水域施設機能保全工事 （湯江漁港泊地浚渫）	1 件	54,258
計	1 件	54,258



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	2	商工業振興費	1,235,013 千円	964,890 千円	268~277

【商工振興課】

○島原ふるさと産業まつり補助金 1,900 千円

地元向けの特産品の普及や需要拡大のため、以下のイベントに補助を行いました。

イベント名	補助額 (千円)	開催日 (日数)	出店数 (店舗数)	来場者数 (人)
島原ふるさと産業まつり	1,900	R3. 11. 27~28 (2日間)	62	10,500



○島原市中小企業振興資金貸付預託金 35,000 千円

市内中小企業に必要な融資を行い、経営の安定に寄与しました。

新規融資件数 1件 融資額 6,000 千円

○島原市中小企業振興利子補給等補助金 170 千円

市内中小企業に利子補給及び保証料補給を行い、経営の改善と産業の発展に寄与しました。

補助件数 6件

内訳…日本政策金融公庫資金（利子のみ）：5件

中小企業振興資金（利子・保証料）：1件

○商店街活性化事業補助金 300 千円

中心市街地の商店街の空き店舗を解消し、出店を目指す者への支援を行いました。

補助件数 1件 （島原市万町商店街振興組合）

○商店街等を核とする地域のにぎわい創出支援事業補助金 1,456 千円

商店街活性化プランに基づき、商店街がにぎわい創出のために実施した事業に対し、支援を行いました。総事業費に対する負担割合は、県費 4/10、市費 4/10、事業者 2/10。

補助件数 1件（島原市中堀町商店街協同組合）

○企業誘致活動事業 270 千円

コロナ禍の中で以前のように訪問や面会での活動ができない状態でしたが、企業の新規立地及び IT・ベンチャー分野を中心とした企業やオフィス系企業に対し、電子メールや Web ミーティングを利用して企業誘致活動を行いました。

また、「島原でしてみんねテレワーク支援事業補助金」については、神奈川県横浜市の 1 社 1 人が本補助金を利用し、お試しテレワーク体験を実施しました。

○企業立地促進・雇用創出事業 16,958 千円

令和 2 年に審議会で指定された事業者に対して、立地奨励金、土地建物賃借奨励金、雇用奨励金を補助しました。当該案件により 50 人の雇用が生まれ、本市での雇用確保に寄与しました。

(千円・人)

業種	投下固定 資産額	新規 雇用者数	奨励金種別				年度計
			立地	施設整備	土地家屋賃借	雇用	
製造業 (1 件)	15,690	50	1,306	-	1,402	14,025	16,958

■支援メニュー

立地奨励金	取得した固定資産額にかかる固定資産税相当額を 3 年間補助 (改修の場合は対象外)
施設整備奨励金	投下した固定資産額(土地代を除く)の取得額又は改修に要した 経費に新規雇用者の数に応じて一定の率(5%~10%)を乗じた額を 補助 ※限度額 1 億円(改修の場合 2 千万円)
土地家屋賃借奨励金	土地・家屋賃借料の 25%を 3 年間補助 ※限度額 1 千万円/年
雇用奨励金	新規雇用した人数に対する補助 ・正規雇用者×50 万円/人 ・短期雇用者×25 万円/人 ※限度額 5 千万円

○雇用拡大支援事業補助金 1,050 千円

市内の事業所に就職した新規学卒者や U I ターン者(若者)に対する支援を行い、若者の定住を促進しました。

新規学卒者 11 人 Uターン者 3 人 Iターン者 2 人

○島原半島若者定着促進協議会負担金 525 千円

県、ハローワーク、半島3市、商工団体が島原半島内への若者の定着を促進することを目的とした協議会を設立し、地元企業説明会や地元企業ガイドブックの作成等を行いました。

- ・ 地元企業説明会（高校3年生対象）
参加企業数 50 社・参加高校 9 校（295 人）
- ・ 地元企業説明会（高校2年生対象）
新型コロナウイルスの影響により中止
- ・ 地元企業ガイドブックの作成
掲載企業 84 社



○地場産業事業拡充促進事業補助金 7,925 千円

市内における雇用機会の拡充を行い、定住、定着、移住の促進を図るため、雇用増に直接寄与する生産能力の拡大、商品・サービスの付加価値向上等の事業拡充を行う小規模事業者へ支援を行いました。補助金の財源負担割合は、国費 1/2、県費 1/4、市費 1/4。

補助件数 3 件

○しまばら創業サポートセンター事業委託料 936 千円

島原商工会議所内に創業支援ワンストップ相談窓口を設置するとともに、創業セミナーを実施し、市内における創業希望者への支援や創業に対する気運の醸成、知識・技術の習得を図りました。

創業実績 4 件



○創業支援等利子補給事業補助金 342 千円

創業関係融資を受けた創業者に利子補給補助を行い、創業時における負担軽減を図りました。

補助件数 13 件

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	3	観光費	468,488 千円	367,596 千円	276～289

【しまばら観光課】

○観光宿泊施設支援事業 13,207 千円

観光の振興と地域の活性化を図るため、温泉給湯事業を利用するホテル・旅館等が実施する宣伝PRや地元の食材提供などに要する経費を対象として支援を行いました。

○島原城築城 400 年武将隊 PR 事業 15,000 千円

演舞披露や甲冑体験、情報発信、PR活動などを行い、湧水城下町島原のイメージ定着化を目指しました。

また、新商品開発やPRグッズの開発も行い、令和6年に迎える島原城築城400年に向けた機運醸成に努めました。

島原城入場者数は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも約116,000人と前年度より微増しました。

島原城内での活動として、武将隊を活用した観光客へのおもてなしについては、大変好評であり、島原での旅の満足度向上に寄与しました。

島原城七万石武将隊



○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 7,170 千円

国登録有形文化財「旧三村家(湧水館)」を「Koi カフェゆうすい館」へリニューアルし、古民家喫茶事業を行うことで、観光客は館内でゆっくりと時間を過ごすことができ、滞在時間の延長及び観光消費額拡大を図りました。

令和3年度入館者数と売上

入館者数	6,900 人
喫茶事業売上	2,510,800 円
手作り体験教室売上	60,800 円

○島原めぐり事業 6,288 千円

島原城や鯉の泳ぐまち等を中心とした島原ならではの風情やおもてなしを観光客に体験してもらうことで、周遊型観光の推進・滞在時間の延長を図りました。

(1)絶対インフラの再強化事業～ソフトバリアフリー化推進～

VRの先を行くMR技術を使った「Son of God～天草四郎」は、販売件数228件の人気商品となりました。VR商品は昼の陣・夜の陣(天守閣に登閣せずに展示品を多言語案内で自由に視聴)と新商品(空中散歩編)の2商品でサービス展開をスタートしました。

(2) 商品インフラの再強化事業～めぐりんチケットスキーム自走化～

市内周遊のめぐりんバスを運行しました(バス停9カ所、1日7便運行、土日祝日の74日間)。過去4年間の実証実験で得たアンケートを基にし収支安定化を図りましたが、コロナ感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による施設の休館とバス運行停止などにより、しっかりとした事業の改善には至りませんでした。

めぐりんチケット販売冊数 1, 134冊

(3) 受地インフラの再強化事業～第4の二次交通網構築～

車、鉄道、バスに加えて新しい旅行様式にも合致する第4の二次交通網として、島原城天守閣・島原港観光案内所・清流亭観光案内所の3カ所でレンタルと乗り捨て可能な「電動アシスト付き自転車レンタルスキーム」を構築しました。

電動アシスト自転車整備台数 21台



「しまばらめぐりんバス」



「MR ゴーグル体験」

○島原市スポーツキャンプ等誘致補助金 4,750千円

新型コロナウイルス感染症を受け、スポーツキャンプや大会の中止が相次ぎましたが、県内外からの交流人口の増加による観光振興及び地域の活性化を図るため、プロサッカーチーム(ギラヴァンツ北九州)やフェンシング日本代表チーム、陸上チームのキャンプをはじめ、各種スポーツ大会を誘致しました。

(キャンプ)

種 目	参加者数	延宿泊者数
フェンシング(日本代表チーム ほか)	348人	1,125人
サッカー(プロサッカー ほか)	297人	989人
陸上(実業団)	61人	60人
野 球(高校 ほか)	42人	122人
合 計	748人	2,296人

(大会)

種目	参加者数	延宿泊者数
野 球		
西日本中学硬式野球大会	1,200 人	997 人
サッカー		
九州大学サッカーリーグ代替大会	210 人	340 人
島原 U-17 強化大会スプリング ROUND	661 人	586 人
島原 U17 サッカーフェスティバル	1,079 人	1,004 人
九州 JrCUP	300 人	115 人
フェンシング		
ジュニアサーブルチャレンジカップ島原市大会	17 人	17 人
全九州フェンシング選手権大会兼全日本九州地区予選会	300 人	600 人
合 計	3,767 人	3,659 人



▲ギラヴァンツ北九州キャンプ ▲西日本中学硬式野球大会 ▲フェンシング日本代表キャンプ

○大会・会議等誘致奨励金 1,610 千円

観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じて奨励金の交付を行い、交流人口の拡大を図りました。

区 分	件数	延宿泊者数	金 額
島原市大会・会議等誘致奨励金	19 件	7,737 人	1,610,000 円

【シティプロモーション課】

○ロケツーリズム推進事業 21,448 千円

本市にある地域資源を活用し、映画やテレビ番組などの撮影誘致・支援を行うことで、作品を通じた情報発信により本市の魅力や認知度の向上、市民の地域に対する愛着の高まりを目指すものです。

- ・ロケ誘致関係では、購読者の3分の1が映像制作者やマスコミ関係者であるロケ地情報雑誌への本市特集記事掲載のほか、ロケ地を探している映像制作者を招請する「ロケハンツアー」を実施しました。
- ・観光客向けには、過去のロケ情報をまとめた「ロケ地マップ」を作成しました。
- ・市民向けには、これまでのロケ実績等を紹介し、官民一体となった受入体制をつくるためのオンラインセミナーを開催しました。
- ・企業版ふるさと納税を活用した映画「今はちょっと、ついてないだけ」の撮影誘致を行い、完成した映画について市民向け試写会を開催しました。

【ロケ受入実績等】

ロケ受入数	20 件
直接経済効果	約 1,466 千円
広告換算効果	約 917,000 千円
企業版ふるさと納税寄附実績	16 社 14,650 千円

【雑誌「ロケーションジャパン」令和3年8月号掲載記事】



【ロケ地マップ】



【ロケツーリズムセミナー】※オンラインにより実施



2022年2月24日(木)
ロケーションジャパン編集部 編集長 山田実希
(株)地域活性プランニング マネージャー 田島潤

セミナー内容

- 講師
(株)地域活性プランニング
ロケーションジャパン編集部
編集長 山田実希氏
- 講師
(株)地域活性プランニング
ロケーションジャパン編集部
編集長 山田実希氏
- 島原市の最新トピックス
 - ・ロケツーリズムアワード受賞
 - ・フジテレビ「有吉くんの正直さんば新番SP」の効果
- ロケツーリズムについて
 - ・ロケツーリズムの手法や効果
- 先進事例の紹介
 - ・まちの魅力度ランキングが大躍上昇(神奈川県湯河原町)
 - ・ドラマの舞台を架空の町から幸田町へ変更(愛知県幸田町)
- 島原市の2021年度の成果
 - ・ロケツーリズムアワード受賞
 - ・ロケツーリズム班設立
 - ・番組等を活用した情報発信実績と効果
 - ・映画「今はちょっと、ついてないだけ」

【映画「今はちょっと、ついてないだけ」撮影風景】



【映画「今はちょっと、ついてないだけ」試写会】



【しまばら観光課】

○九州オルレ「島原コース」推進事業 1,165千円

九州オルレ「島原コース」のコース整備や島原フェアを行い、交流人口の増加を図りました。

- ・利用者数 4,401人（令和3年4月1日～令和4年3月31日）



「カンセと平成新山」



「島原フェアを楽しむ」

【しまばら観光課・耕地水産課・シティプロモーション課】

○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 10,089千円

雲仙・普賢岳噴火災害から30年という節目の年に、「景観」「湧水」「食」などの火山由来の特色をリンクさせた取り組みを行うことで、自然の恵みと災害の爪痕を若年層に伝えていくために“火山の脅威と恵み”体感できるリアル&オンラインコンテンツとして、「観光」「交通」「漁業」「製造業」による連携を図りながら各コンテンツの磨き上げを行いました。

- (1) 九州オルレ島原コースの磨き上げ
オルレコース内に噴火災害当時の様子や復興した現在の様子をVR映像を活用し紹介するツールを制作しました。



- (2) Zakko 新グルメ開発
有明海で水揚げされる未利用の雑魚を活用し、新グルメ『ざっころ』を開発しました。

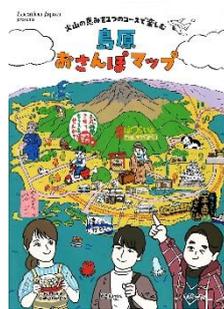


- (3) しまてつかフェトレインの磨き上げ
観光列車しまてつかフェトレインにVR映像を活用したエンタメ要素をプラスし、島原・島鉄旅の楽しみを増やしました。



(4) テレビや映画のロケ地の有効活用

過去のロケ実績を活用し、「ロケ地看板」(2箇所)と、ロケ地情報を盛り込んだ「まちあるきマップ」を制作しました。



【しまばら観光課】

○島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設指定管理料 55,000千円

島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設(鯉の泳ぐまち観光交流センター「清流亭」、しまばら湧水館、湧水庭園「四明荘」)を指定管理者が一元的に管理運営することにより、周遊型観光の促進及び滞在時間の延長を図りました。

年度	指定管理料	利用者数			
		島原城	清流亭	湧水館	四明荘
R 3	55,000,000円	68,873人	26,193人	6,900人	18,411人
R 2	20,000,000円	59,319人	23,303人	6,376人	15,148人
R 1	8,500,000円	124,100人	39,492人	14,790人	28,201人
H 3 0	9,000,000円	119,734人	32,868人	16,783人	29,630人
H 2 9	17,000,000円	127,649人	50,976人	20,424人	53,434人

○浜の川湧水観光交流施設指定管理料 1,400千円

本市特有の観光資源である「湧水」を活用した交流施設として、島原の名物である「かんざらし」等の提供を行うとともに、魅力的な観光スポットとして島原城や鯉の泳ぐまちと併せた周遊化及び滞在時間の延長と交流人口の拡大を図るため、令和3年度から管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

年度	指定管理料	利用者数
R 3	1,400,000円	19,598人
R 2	—	19,076人
R 1	—	29,409人
H 3 0	—	22,790人
H 2 9	—	18,414人



○島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料 23,000千円

市民の健康増進や観光客の市内周遊化、中心市街地の活性化を図る目的で建設した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」の管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

年度	指定管理料	利用者数
R 3	23,000,000円	52,581人
R 2	20,000,000円	55,114人
R 1	13,000,000円	75,150人
H 3 0	10,000,000円	71,307人
H 2 9	10,000,000円	68,766人

○島原城築城400年記念事業補助金 334千円

令和6年に迎える島原城築城400年に向け、島原城・城下町の歴史や文化を再認識し、次世代に伝承するための事業を実施しました。

- ・島原城築城400年記念事業「島原みらいキャンパス」(講座回数5回、参加者数:195人)
- ・特別講演(ウェブ配信対応 参加者数:会場25人、ウェブ18人)



島原みらいキャンパス



特別講演

○島原城整備事業 31,460千円

令和6年に迎える島原城築城400年に向け、島原城の景観整備を図るため、矢狭間堀の改修と天守閣整備にかかる設計業務を実施しました。

事業名	契約額	年度中支払額
島原城矢狭間堀改修工事	68,893,000円	27,500,000円
設計業務委託	3,960,000円	3,960,000円



矢狭間堀改修工事

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	4	ふるさと産業振興費	18,287千円	15,478千円	288～293

【商工振興課】

○特産品PR催事事業費 1,470千円

（ホームページ・パンフレット管理活用事業、特産品認定・催事支援事業）

本市特産品のブランド化の一環として、商品の魅力が向上し、消費者に愛される特産品となるよう、各種催事等を積極的に活用した情報発信・PRを行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で県外での催事が実施できなかったため、地元百貨店の催事場でのフェアを令和2年度に引き続き行いました。

- ・物産展等開催・参加回数 3回
- ・延べ出展事業者数 13事業者



長崎浜屋「島原半島フェア」



アミュプラザ長崎「島原マルシェ」

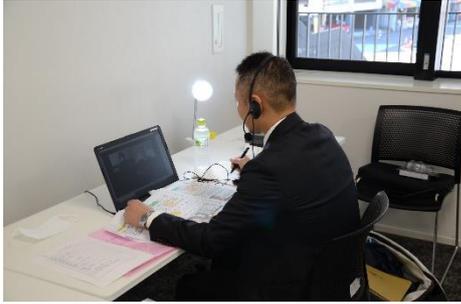
○特産品流通促進事業費 2,093千円

（バイヤー交流セミナー、ビジネスマッチング商談会開催事業、島原産品プロモーション事業）

コロナ禍の中での新たな取組として、オンライン商談会を初めて開催しました。オンライン商談会では、バイヤーに対して商品サンプルを送付し、対面型の商談会に近付ける取組を行いました。なお、オンライン商談会と合わせて海外販路拡大セミナーも開催しました。

また、本市特産品が都市圏における大手百貨店等において、常備流通商品として定着化が図れるよう、バイヤーと地元生産者が直接面談しアドバイスを受けられる商品相談会を開催しました。有名レストランと連携し、本市産品の生産者とのマッチングによりフェアを開催し、魅力ある本市産品の情報発信を行うとともに、レストランへの販路開拓を図りました。

- ・オンライン商談会 1回 参加事業者11事業者
- ・オンライン商談についてのセミナー 3回 参加事業者24社
- ・海外販路拡大についてのセミナー 3回 参加事業者13社
- ・バイヤー招聘商品相談会 1回 参加事業者8事業者
- ・レストラン食材マッチング 3回 参加生産者8事業者
- ・レストランと連携した島原フェア 2回 参加生産者24事業者



オンライン商談会



オンライン商談に係るセミナー

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	5	有明の森フラワー公園管理費	22,686 千円	22,686 千円	292～293

【商工振興課】

○有明の森フラワー公園指定管理経費 22,686 千円

市民の休養・憩いの場を提供し健康増進を図るとともに、観光交流の場として本市の活性化に資するため設置している島原市有明の森フラワー公園について、指定管理者へ管理運営を委託し、効果的な運営を図りました。

・R3利用者 約51,000人



有明の森フラワー公園

<花カレンダー（見ごろの時期）>

花の種類	開花時期
菜の花	3月～4月
桜	4月
パンジー	4月
サルビア	5月～11月
マリーゴールド	5月～11月
コスモス	10月